

第1回流山市環境審議会第2期環境行動計画策定部会議事概要

1. 日時 平成21年4月27日(金)午前10時27分から12時10分まで

2. 場所 流山市役所 庁議室

3. 出席

(1) 委員

伊藤委員、新保委員、平手委員、松島委員、吉田委員
田代環境審議会会長

(2) 事務局

宇仁菅部長、飯泉課長、楢木課長補佐、阿部主査、伊藤主任主事

4. 資料

- 資料1 流山市第2期環境行動計画策定部会設置要領
- 資料2 流山市第2期環境行動計画策定部会委員名簿
- 資料3 流山市環境基本計画
- 資料4 第1期 流山市環境行動計画
- 資料5 第1期 流山市環境行動計画 概要版
- 資料6 平成20年版 流山市環境白書
- 資料7 流山市総合計画 概要版
- 資料8 国・県の地球温暖化対策について
- 資料9 国・県の生物多様性戦略について
- 資料10 地球温暖化対策の推進に関する法律の改正について
- 資料11 地方公共団体による地球温暖化関連施策
- 資料12 第2期流山市環境行動計画策定に当たっての基本方針
- 資料13 流山市環境モデル都市提案書
- 資料14 流山市第2期環境行動計画策定部会スケジュール(案)
- 資料15 流山市第2期環境行動計画の策定について(諮問)

5. 議事概要

- ・(田代環境審議会会長挨拶)具体的な行動計画と、それを展開していくための道筋をつけることが、当部会のミッションである。ローカルな課題を解決しなければならない。
- ・委員の互選により部会長に新保委員を選出する。
- ・生物多様性地域戦略の策定イメージは、独立はしているが、他の計画も含めて第2期環境行動計画の構成の1つという位置づけである。また、市域全体的なものではなく、スポット的なものであり、どちらかという実行計画に近いものである。
- ・(仮称)低炭素まちづくりセンターの業務内容については、まだ江戸川大学と協議中であるが、シンクタンク機能を期待しており、センターをどのように活用すれば部会で検討した削減目標を達成できるのかについて、この部会で考えることもできる。
- ・数値目標はいろいろな数値があり、政策的に使われるデータが変わる場合もある。誰がどうやって算出したか、算出した根拠を明らかにすべきである。
- ・流山市は特に民生部門の排出量が多いので、それを削減するためには、市民がオーナーシップというか自分たちの計画と見るかどうかが重要である。そのためにはアンケート

とパブコメだけでいいのかという疑問が残る。

- ・計画の市民参加の1つとして、市民環境講座を活用するという方法もある。
- ・環境部局が作った計画だからといって、他の部局は関係ないのではなく、市役所全体の横のつながりが必要である。
- ・意識の高い自治会があり、そうでない自治会との温度差が大きいが、前者のような自治会の形成を進めてほしい。
- ・これから新住民人口が増えていったときに、彼らを巻き込んでどれだけ思い入れをもってもらうかが重要である。
- ・この部会は真っ白のところから検討を始めるものである。
- ・生物多様性地域戦略の検討の際はフィールドに出ることも必要である。
- ・生物多様性は残っているところの保全とともに、失ったところの再生ということも重要な観点である。
- ・実施する市民アンケートについては各委員に早急に送付する。
- ・次回の部会では第1期行動計画の総括・評価を行うので、資料を事務局が準備する。
- ・部会は公開とし、会議の概要を公表する。